



Title	田川弘雄教授 経歴・研究業績
Author(s)	
Citation	大阪外大英米研究. 1999, 23, p. 3-6
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/99212
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka



田川弘雄先生

田川 弘雄 教授 経歴

昭和8(1933).6.20	大阪府に生まれる
昭和31(1956).3	大阪外国語大学英語学科 卒業
昭和31(1956).4	浪速高等学校講師
昭和34(1959).4	明星高等学校講師
昭和36(1961).3	関西学院大学大学院文学研究科(修士課程米文学専攻) 修了
昭和37(1962).4	近畿大学専任講師(英語・文学)
昭和39(1964).8	フルブライト留学生として渡米、ニューヨーク大学大 学院で米文学研修
昭和41(1966).10	近畿大学助教授(英語・文学)
昭和42(1967).4	大阪外国語大学助教授外国語学部(英語・文学)
昭和51(1976).4	大阪外国語大学大学院外国語学研究科担当
昭和52(1977).1	大阪外国語大学教授外国語学部(英語・文学)
昭和53(1978).2	香港大学客員教授(国際交流基金により派遣~8月まで) (この間、米国イエール大学、コロンビア大学などに研究員として数回にわ たって留学)
平成11(1999).3	定年退官

田川 弘雄 教授 研究業績

I 著書

- 『Riddle and Quiz in English: 英語のクイズ』、創元社、昭和47(1972)
『視座と構築』、篠崎書林、昭和59(1984) (共同執筆)
『英語英米文学ハンドブック』、創元社、昭和63(1988) (共同執筆)
『ビジネスマンの英会話』、研究社出版、昭和63(1988) (共同執筆)
『モダン・アメリカン・ドラマ』、研究社出版、平成1(1989) (共同執筆)
『アメリカ演劇の世界』、研究社出版、平成2(1990) (共同執筆)
『現代英米の劇作家たち』、英潮社新社、平成2(1990) (共同執筆)

II 論文

- A Study of Mourning Becomes Electra* (修士論文)、昭和36(1961)
「ユージン・オニールのテーマの発生と発展」『芸文』 (近畿大学紀要) 英文特集、昭和37(1962)
「アメリカ演劇の現状と将来について」『芸文』 7巻1号、昭和41(1966)
“An Existentialist's View on the Heroine of *The Sun Also Rises*,” 『芸文』 7巻2号、昭和42(1967)
「アメリカ文化の表現としてのFamily Play」『大阪外国語大学学報』 21、昭和44(1969)
「'60年代のアメリカ演劇の動向—Arthur L. Kopitの場合」『大阪外国語大学学報』 22、昭和45(1970)
「*The Zoo Story*再考：オニール、ベケットの一幕物との比較」大阪外大『英米研究』 7、昭和46(1971)
「オニール『終わりなき日々』—結末についての伝記的考察」『大阪外国語大学学報』 29、昭和48(1973)

- 「ユージン・オニール『偉大なる神ブラウン』の草稿についての考察」大阪外大『英米研究』8、昭和49(1974)
- 「Work Diaryにみるオニールの夫婦愛」大阪外大『英米研究』9、昭和50(1975)
- 「アメリカ演劇の未来を占う」『会報(日本アメリカ文学会)』XIV、昭和51(1976)
- 「アメリカ演劇過去15年の軌跡—KopitとAlbeeの歩んだ道—」大阪外大『英米研究』10、昭和52(1977)
- 「アメリカ近代劇におけるネミシスの役割について」『大阪外国語大学学報』57、昭和57(1982)
- 「オルビーはもう駄目なのだろうか—*Listening, Counting the Ways*論」大阪外大『英米研究』13、昭和58(1983)
- 「エドワード・オルビーの不振の原因」『悲劇と喜劇』早川書房、昭和58(1983)
- “A Comparative Study of the Late Plays of O'Neill and Albee”、『大阪外国語大学学報』64、昭和59(1984)
- 「Shepardの劇の登場人物間コミュニケーション—オニール、オルビー、シェバードの比較—」大阪外大『英米研究』14、昭和60(1985)
- 「エドワード・オルビー『海景』以後の不調」『アメリカ演劇』1、法政大学出版局
- 「アメリカ演劇の誕生と発展—18、19世紀の演劇事情」大阪外大『英米研究』15、昭和62(1987)
- 「黒人演劇に見られる二面性—Ed Bullinsを中心として」大阪外大『英米研究』16、昭和63(1988)
- 「現代アメリカ演劇への一考察:ジョージ・カフマンの喜劇をめぐって」(資料集)大阪外大『英米研究』19、平成6(1994)

III 日本文學英訳

『広野(あらの)』堀辰雄、*The Reeds* 13、昭和46(1971)

『玉 散る』開高健、*The Reeds* 15、昭和54(1979)

『墨』有吉佐和子、*The Reeds* 17、昭和60(1985)

『螢川(の一部)』宮本輝、*The Reeds* 18、昭和62(1987)

『兎と亀』向田邦子、*The Reeds* 20、平成8(1996)

IV その他

(注釈書)

The Subject Was Roses by F. Gilroy、南雲堂、昭和43(1968)

The Temper of Our Time by E.Hoffer、文理書院、昭和45(1970)

V 学会活動、社会活動など

日本英文学会会員、日本アメリカ文学会会員(昭和55~関西支部評議員)、日本アメリカ演劇研究者会議会員、国際ロータリー・クラブ会員(現在休会中)、American Society for Theatre Research会員など